



「空き家ちゃんとしてる?」 市、ガイドブック発行

社会問題化する空き家の適正な管理方法などを周知しようと、いわき市はこのほど、ガイドブック『あなたの空き家ちゃんとしてる?』を発行した。作成は初めてで、市住まい政策課や各支所などで配布しているほか、市のHPでも公開している。

同課によると、市では二〇一七〜一九年度の三カ年で市内全

域の空き家を調査。三千七百十三軒の空き家が確認され、このうち三千九十七軒が再利用可能、六百十六軒が再利用困難だった。

また、地域住民の生活環境や安全に影響を及ぼしている「特定空き家」は、今年二月末現在で百四軒。年々増えているが、所有者への指導などによる改善完了は三十軒にとどまり、社会



空き家の適正な管理などを伝えるガイドブック

問題化が加速している状況だ。ガイドブックは、A4判・カラー刷りで全七ページ。NPO法人いわき市住まい情報センターと協力して作成し、三千部発行した。

主な内容としては、空き家を放置することで発生する問題や空き家化予防のポイントなどを、イラスト付きで分かりやすく掲載。所有者と利用希望者を

商工会議所

HP制作などにも補助金の利用可

平字田町、いわき商工会議所(小野栄重会頭)は、コロナ禍、県の時短要請などで疲弊する市内の小規模事業者に向けて、補助金の活用を薦めている。

同制度は小規模事業者が対象で、補助上限額五十万円、補助率三分の二の「小規模事業者持続化補助金(一般型)」、同上

「同 低感染リスク型ビジネス枠」などがあり、添付書類の発行や申請に関する相談を受け付けて中。

申請はオンラインからが原則で、一部のみ郵送可。同商議所と各支所、各地域の商工会の会員、非会員を問わず相談は受けられる。

これらの補助金は種類により、販促用チラシ、ポスティング、広告費用、HP制作、ネット販売システムの構築、展示会、オンライン展示会への出展、生産プロセス導入の開発費、消毒、

つなぐ、同NPOの「空き家バンク」を通じた売却や賃貸など、利活用方法も紹介している。

同課では、「空き家の増加は、人口減少や核家族化、相続に対する意識の低さなどが原因。今後が増えることが予想され、ガイドブックを予防などの一助にしてほしい」と話している。

問い合わせは、同課(電話二二一七五九三)まで。

17日から「かおてん」

市立美術館が再開

いわき市立美術館は、「いわき市感染拡大防止一斉行動」の実施に伴い五月三十一日まで休館していたが、六月一日から再開した。

今後の企画展は、五月十六日まで会期を予定していた「No.1 Women-夢みるチカラ」が六月二十五日まで延長となったため、五月二十九日から七月四日までの「クレパス画名作展」は

《謎のおおきな「床田愉男」》撮影・阿部高之



中止(来年度以降の開催を検討中)、「tupera tupera のかおてん」は予定通り七月十七日から八月二十九日まで開催する。

「tupera tupera」は、絵本などで活躍する亀山達矢さんと中川敦子さんの二人組人気クリエイティブ・ユニット tupera tupera (ツペラツペラ)による、「顔」をテーマにした展覧会。絵本原画や平面・映像・立体と新作も含めたさまざまな作品を展示。ワクワク、ドキリの世界が楽しめる。

同展の観覧料は一般千円、高専・大生五百円、小・中・生三百円(市内の小・中・高・専修・高専生は土日無料)。開館時間午前九時半〜午後五時(入場は閉館三十分前まで)。休館日・月曜日。

詳しくは、同美術館(電話二五一一一一)まで。

坂本さんが1日に ピアノリサイタル

いわき市出身のピアニスト、坂本すみれさんのピアノ・リサイタルが七月一日午後七時から、いわき芸術文化交流館アリオスで開かれる。

公演では、ベートベン「ピアノ・ソナタ第二十四番「テレゼ」」、ショパン「ノクターン遺作」「バラード 第三番」などの曲目を披露する。全席自由で、料金は二千九百円。申し込み・問い合わせは、同チケットセンター(電話二二一五八〇〇)まで。